

標本の世界

鳥

展示監督：遠藤秀紀

監督助手：工藤光平、上本真里亜

2018 | 6/22 fri. - 10/20 sat.

9:00 - 17:00 [日曜祝日休館] 入場無料

開催場所 文京区教育センター 2階大学連携事業室

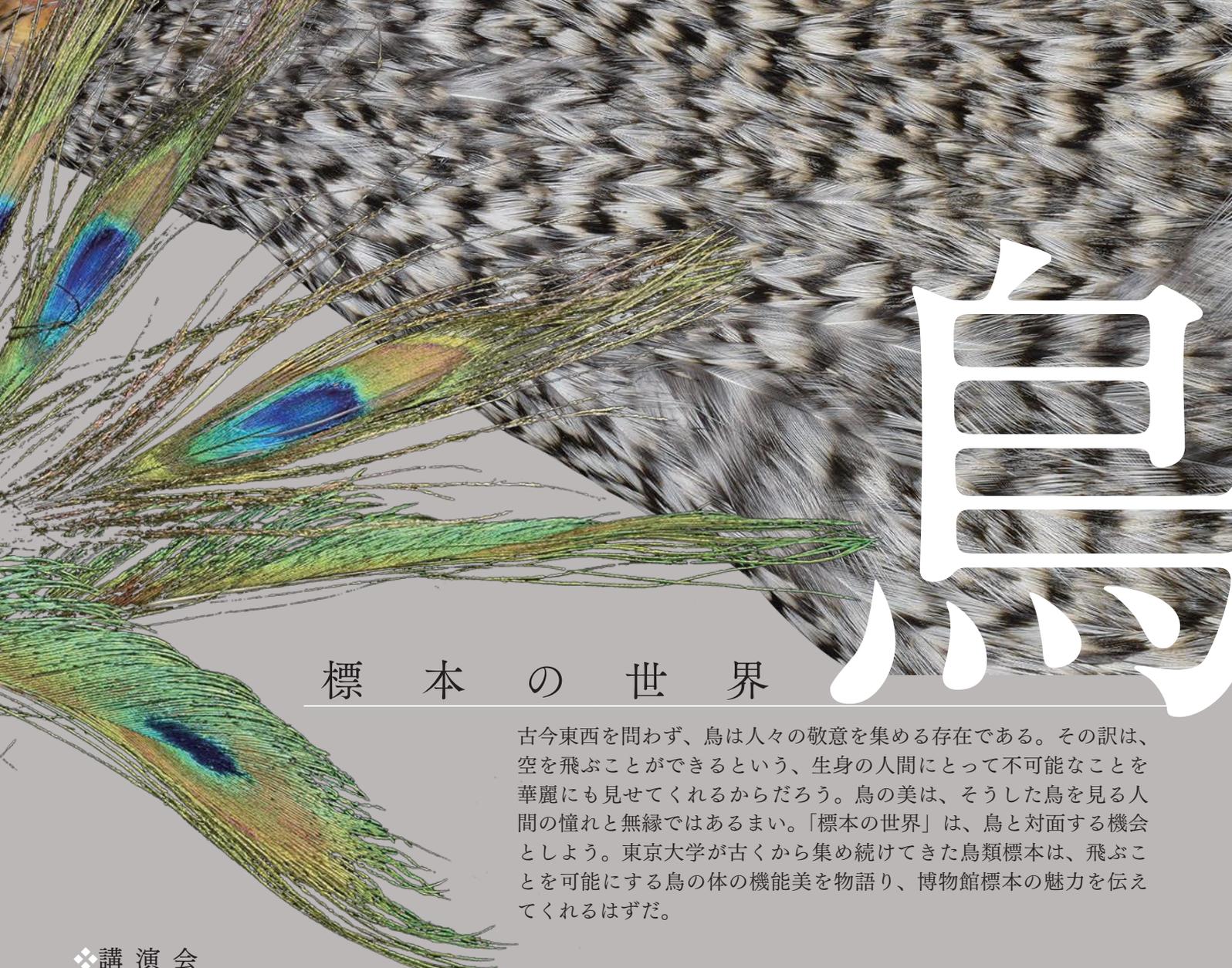
文京区湯島4-7-10 TEL: 03-5800-2591

東京大学総合研究博物館 <http://www.um.u-tokyo.ac.jp>

文京区教育センター <http://www.bunkyo-ky.ed.jp/ed-center/>

東京大学総合研究博物館 スクール・モバイルミュージアム





標本の世界

古今東西を問わず、鳥は人々の敬意を集める存在である。その訳は、空を飛ぶことができるという、生身の人間にとって不可能なことを華麗にも見せてくれるからだろう。鳥の美は、そうした鳥を見る人間の憧れと無縁ではあるまい。「標本の世界」は、鳥と対面する機会としよう。東京大学が古くから集め続けてきた鳥類標本は、飛ぶことを可能にする鳥の体の機能美を物語り、博物館標本の魅力を伝えてくれるはずだ。

❖ 講演会

7月21日(土)

13:30~14:30

「鳥の体の設計」

講師：遠藤秀紀

7月28日(土)

13:30~14:30

「鳥の目に見えているもの」

講師：工藤光平

8月18日(土)

13:30~14:30

「標本の美—
標本の背景を知る」

講師：工藤光平

8月25日(土)

13:30~14:30

「解剖で知る
5億年の進化」

講師：遠藤秀紀

9月15日(土)

13:30~14:30

「人と鳥が築いた文化」

講師：工藤光平

遠藤秀紀

(東京大学総合研究博物館教授)

「東大夢教授」(リトルモア)、「人体 失敗の進化史」(光文社)を出版。解剖人生の悲哀を自ら描く。動物の亡骸を進化の歴史書として読みとり、体の形に底知れぬ美を感じつつ、今日を生きる。1965年生まれ。

講師プロフィール

工藤光平

(東京大学総合研究博物館特任研究員)

生きる文化財である日本鶏を「人と動物の関係学」の視点で捉え直し、その品種を特徴づける形質と人の育種観を結びつける理論構築を目指す。現在は全国を奔走し、各地の愛鶏家へ社会的調査を進めている。1989年生まれ。

URL

東京大学総合研究博物館 <http://www.um.u-tokyo.ac.jp>
文京区教育センター <http://www.bunkyo-tyk.ed.jp/ed-center/>

開催場所

文京区教育センター 2階大学連携事業室

文京区湯島4-7-10 TEL: 03-5800-2591

開催日時

6月22日(金)~10月20日(土)
9:00~17:00 [日曜祝日休館]

入場
無料

アクセス

地下鉄千代田線「湯島」駅より徒歩8分
地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩10分

